資料３



令和８年度版
札幌市環境白書
－概要版－

さっぽろの環境のために
いっしょに取り組もう

札 幌 市

はじめに

地球温暖化による気候変動は、異常気象や集中豪雨、そして私たちの生活への影響としてすでに顕在化しており、その深刻度は危機的な水準にあります。さらに、脱炭素社会の実現へ向けたエネルギー対策や、資源の有効活用、生物多様性保全の重要性の高まりなど、環境を取り巻く社会情勢は一段と深刻さを増しています。

複雑・多様化する環境問題へ対応するため、札幌市では、パリ協定などの国際的な潮流なども踏まえ「第2次札幌市環境基本計画」を策定し、「環境首都・SAPP_RO」を将来像として掲げ、世界に誇れる環境都市を目指して様々な取組を進めています。

次の世代へ豊かな環境を引き継ぐため、また今まさに私たち自身が直面している危機を乗り越えるため、私たち一人ひとりが自らの生活や行動が環境に及ぼす影響を考え、市民、企業、行政等が一体となって行動していかなければなりません。

第2次札幌市環境基本計画

札幌市環境基本計画は、札幌市環境基本条例（1995年制定）に基づき、環境保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための計画です。

2018年3月に策定した第2次札幌市環境基本計画では、近年の環境問題に関する社会情勢の変化に対応するとともに、将来に向けた環境政策の更なる推進を図るため、2050年の札幌の環境の将来像と、2030年までに市民や企業、市民団体、行政等の全ての主体が取り組むべき施策の方向を定めています。



2050年に向けた札幌の環境の将来像

次世代の子どもたちが笑顔で暮らせる持続可能な都市「環境首都・SAPP_RO」

- 市民一人ひとりが積雪寒冷地における生活のあり方を工夫し、改善し続けることで、将来にわたって自然の恵みを守り、札幌らしい豊かな暮らしの文化が根付いている都市
- 産学官民が協力して、地球温暖化対策や生物多様性の保全、持続可能な資源循環など、国や地球規模での環境問題の解決に率先して取り組み、国内外にその取組と魅力を発信している都市
- 北海道の豊富な自然エネルギーや資源を活用することで、エネルギーや製品の地産地消が進み、環境関連産業が発展した北海道内の経済的循環の中心となることが実現している都市

第2次札幌市環境基本計画における「持続可能な開発目標（SDGs）」の位置付け

2015年9月に国連で採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」は、2016～2030年までの15年間で世界が目指す、持続可能な社会の実現に向けた17の目標です。

SDGsには、環境保全のほか、社会問題、経済成長に関する目標も含まれており、様々な課題の同時解決を目指すこととしています。

第2次札幌市環境基本計画では、このSDGsの視点を持って施策を推進するとともに、課題解決のために様々な主体や地域との連携を図っていくこととしています。



1 健康で安全な環境の中で生活できる都市の実現

関連する主なSDGs

大気汚染物質の1つであるPM2.5は全ての測定局において環境基準に適合

■微小粒子状物質(PM2.5※)環境基準適合状況(令和7年度)

測定局	測定値(μg/m3)		環境基準適合状況(適○・否×)
	<長期基準>年平均値	<短期基準>日平均値の年間98%値	
篠路	7.4	18.0	○
発寒	6.2	17.1	○
手稲	6.4	16.1	○
厚別	5.7	14.4	○
清田	6.7	16.8	○
北1条	7.7	19.0	○
月寒中央	6.9	17.3	○
南14条	6.8	17.9	○
北19条	6.9	16.8	○
東18丁目	7.0	16.1	○
環境基準値	15	35	-

※PM2.5(微小粒子状物質)とはおおむね粒径2.5μm以下の小さな粒子の総称です。肺の奥深くまで入りやすいため、呼吸器系や循環器系への影響が指摘されています。

水質汚濁の代表的な指標であるBODは15地点中14地点で環境基準に適合

■市内河川のBOD※の環境基準適合状況(令和7年度)

水域	河川	環境基準点	測定値(mg/L)	環境基準(mg/L)	環境基準適否(適○・否×)
豊平川水域	豊平川	白川浄水場取水口	1.4	2	○
		東橋	1.5	3	○
		中沼	2.3	3	○
	南の沢川	川沿橋	1.3	2	○
	北の沢川	北の沢橋	1.4	2	○
	真駒内川	五輪小橋	1.4	2	○
	精進川	精進川放水路分派前	1.3	2	○
	望月寒川	望月寒鉄北橋	1.6	2	○
	月寒川	月寒鉄北橋	1.8	2	○
	厚別川	厚別鉄北橋	1.6	2	○
	野津幌川	水恋橋	2.2	3	○
茨戸川水域	創成川	北16条橋	0.8	3	○
		茨戸耕北橋	4.5	3	×
新川水域	琴似発寒川	西野浄水場取水口	0.6	2	○
	新川	第一新川橋	2.3	8	○

※BOD(生物化学的酸素要求量)とは、微生物が水中の有機物を生物学的に酸化・分解するために必要な酸素量のことで、数値が高くなるほど汚れていることを示します。

親しみを感じる川や水辺の環境維持のため環境保全活動を支援しています



札幌市では、身近な環境への関心を高めるため、学校や市民活動団体等が自主的に取り組んでいる水生生物観察会や環境学習に対し、水生生物調査ハンドブックの提供、観察用具の貸出し、職員の派遣等の支援を行っています。



気候変動や防災に関する出前講座を実施しています

気温上昇による農作物への影響、短時間強雨や台風の大型化などによる自然災害の発生や熱中症患者の増加など、地球温暖化による気候変動の影響は、既に、私たちの暮らしの様々なところに現れています。

このような極端な気象現象は、世界各所で今後増加していくことが懸念されていることから、温室効果ガス排出量の削減を進める「緩和策」に加え、気候変動の影響に対して、自然や人間社会のあり方を調整する「適応策」を実施していくことが重要です。



札幌市では、市民や事業者等を対象に、気候変動や防災に関する出前講座を実施しています。

いっしょに取り組もう

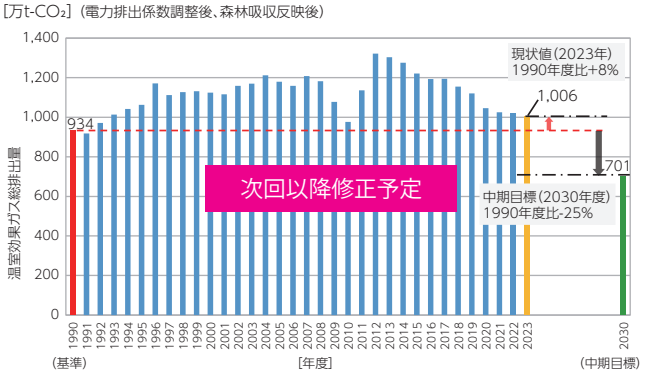
- ●自動車を運転する場合は、エコドライブを実践しよう!
- ●洗剤等の使いすぎに注意して水を汚さないようにしよう!
- ●気候変動(異常気象)が及ぼす生活への影響について考えよう!
- ●防災用品を揃え、各種ハザードマップを確認しよう!

2 積雪寒冷地に適した低炭素社会の実現

関連する主なSDGs

札幌市の温室効果ガス排出量は減少傾向で推移

■札幌市における温室効果ガス排出量の推移



【札幌市気候変動対策行動計画】

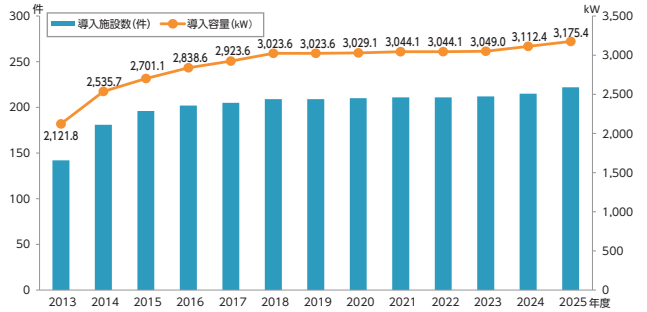
令和3年(2021年)3月、2050年の目標として「温室効果ガス排出量を実質ゼロとすること(ゼロカーボン)」を掲げた「札幌市気候変動対策行動計画」を策定しました。

この計画では、ゼロカーボンの実現に向けて、2030年には「温室効果ガス排出量を2016年比で55%削減」するという極めて高い目標を設定し、取組を加速させることとしています。



太陽光発電をはじめとした再生可能エネルギーの導入を促進

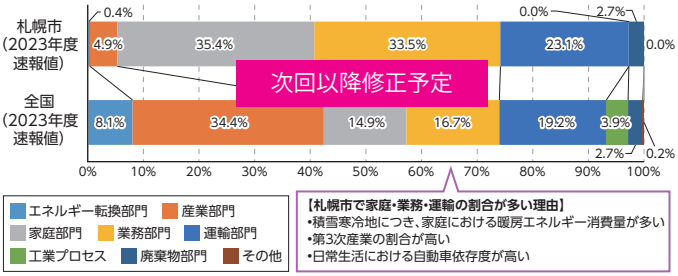
■市有施設の太陽光発電導入状況（累計）



札幌市では、再生可能エネルギーを普及させるため、市有施設への太陽光発電設備の導入を進めています。導入には、初期費用等に課題があるため、現在は初期費用がかからないPPAという手法などを活用し、導入拡大に向け取り組んでいます。導入した設備は光熱費の削減のほか、災害時に利用できる電源としての役割も担っています。また、市民への太陽光発電や家庭用燃料電池などの再エネ・省エネ機器の導入支援として補助制度を運用しています。

家庭・業務・運輸の3部門でCO_2排出全体の約9割を占める

■札幌市と全国との部門別CO_2排出割合の比較（2024年度速報値）

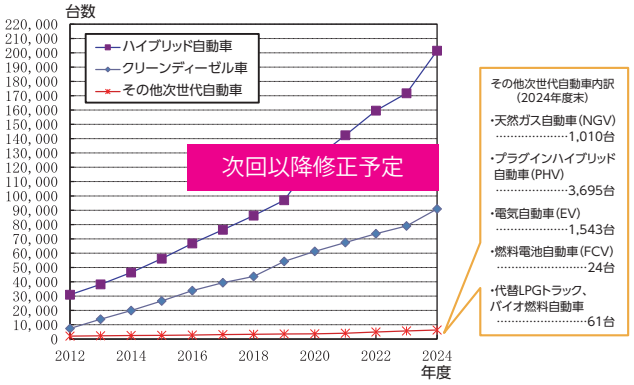


【札幌市で家庭・業務・運輸の割合が多い理由】
- 積雪寒冷地につき、家庭における暖房エネルギー消費量が多い
- 第3次産業の割合が高い
- 日常生活における自動車依存度が高い

※四捨五入のため、内訳の合計が100%にならない場合があります。

札幌市内における、次世代自動車の台数は年々増加

■札幌市内の次世代自動車の普及状況



札幌市では、災害時にも役立つゼロエミッション自動車等（電気自動車、燃料電池自動車、V2H充電設備※等）の購入費用の一部を補助する「札幌市ゼロエミッション自動車購入等補助制度」を運用しています。

※電気を電気自動車等へ充電するとともに、自動車に蓄えた電気を建物へ給電することを可能とする設備

公共交通の利用促進

- 乗換案内サービス「さっぽろえきバスナビ」の提供
- 「地下鉄専用1日乗車券」「ドニチカキップ」の発売
- バリアフリー化の推進　●交通環境学習の推進

脱炭素型ライフスタイルの促進

- Webを活用したコラムや動画等のコンテンツの公開
- イベント等を通じた具体的なゼロカーボンアクションの紹介等
- 市内の事業者を対象とする札幌商工会議所共催「ゼロカーボンセミナー」の実施

いっしょに取り組もう

- 電気の無駄な使用を減らし、省エネ製品に意識して切り替えよう!
- 衣類等を工夫して、冷暖房の過剰な使用を控えたり、クーリングシェルターを活用したりしよう!
- 建物に太陽光発電などを導入して再生可能エネルギーを活用しよう!
- 次世代自動車や公共交通機関を積極的に利用しよう!

3 資源を持続可能に活用する循環型社会の実現

関連する主なSDGs

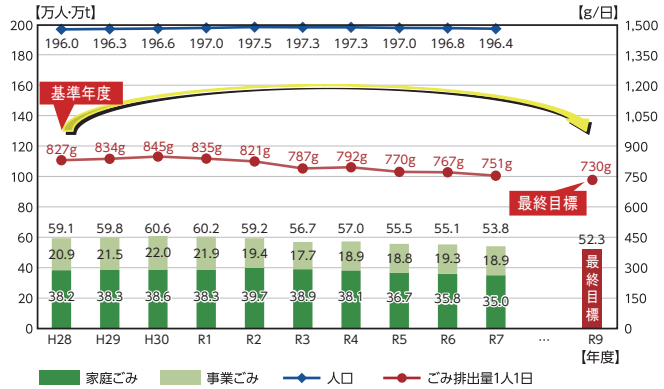
ごみの一番少ないまちを目指しています!

札幌市は、これまで、「びん・缶・ペットボトル」や「雑がみ」、「容器包装プラスチック」などの分別収集の推進や、家庭ごみの有料化などにより、市民・企業の皆さんとともにごみ減量・リサイクルに取り組んできました。

その結果、札幌市が処理する「ごみ排出量」※は減少し、2024年度は20ある政令市で5番目にごみの少ないまちになっています。引き続き、ごみの一番少ないまちを目指して、2027年度までに1人1日当たり100g減量することを目標に、リデュース・リユースの「2R」を中心とした取組を進めます。

※ごみ排出量…家庭ごみと事業ごみ(資源物を含む)の総量

■ごみ排出量の推移と目標

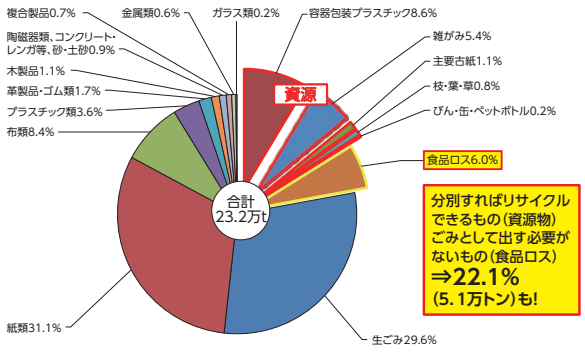


■3R…ごみを減らすための環境行動を表す3つの英語の頭文字をとったもの



燃やせるごみの中には資源物が約3.7万トン、食品ロスが約1.4万トンも!

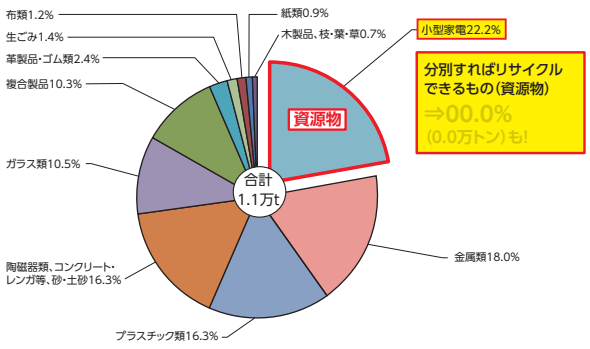
■家庭から出る燃やせるごみの組成



※端数を四捨五入したため、合計が100%にならない場合があります。

燃やせないごみの中には小型家電が約2千トンも!

■家庭から出る燃やせないごみの組成



※端数を四捨五入したため、合計が100%にならない場合があります。

札幌市のごみ減量・リサイクル推進活動

- 市のホームページやパンフレット等を通じて、食品ロス削減や使い捨てプラスチックの使用削減などを呼びかけています。
- 市民が資源物を持ち込める回収拠点の整備を行っています。
- 町内会などの住民団体が自主的に資源物を集めて回収業者に引き渡す「集団資源回収」を促進するため、実施団体や回収業者に奨励金を交付しています。

いっしょに取り組もう

- 使いきり、食べきりで食品ロスを減らそう!(リデュース)
- まだ使える不要品はリユースショップやフリーマーケットなどを活用して、他の人に使ってもらおう!(リユース)
- 雑がみや容器包装プラスチックなどの資源を正しく分別しよう!(リサイクル)
- エコマークなどの環境ラベルを目安に、環境負荷の少ない製品を選びましょう!

4 都市と自然が調和した自然共生社会の実現

関連する主なSDGs

生物多様性さっぽろビジョン、さっぽろヒグマ基本計画2023

私たちの暮らしは食糧や水の供給、気候の安定など、自然から得られる恵み（生態系サービス）によって支えられていますが、現在、人間による消費活動や事業活動などがもたらす影響によって世界中で自然（生物多様性）が損なわれています。

札幌市では、「生物多様性さっぽろビジョン」や「さっぽろヒグマ基本計画2023」に基づき、自然環境の保全や生物多様性に配慮したライフスタイルの推進に向けて、市民等に対する普及啓発や希少種・外来種対策、ヒグマ、エゾシカ等の野生鳥獣への対策など、体系的・総合的に施策を推進しています。

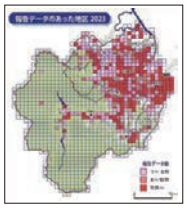




動植物データの収集

■さっぽろ生き物さがし2025

生き物の生息、生育状況の把握と生物多様性に対する理解の促進を目的に、市民参加型の生き物調査を行いました。



■令和7年度自然環境調査

市内の生物多様性の現況や変化の傾向を把握するために、札幌市の5つの特徴的な自然環境で植物の調査を行いました。



■動植物データの分析、活用

市内の活動団体等による生き物観察会や調査で得られた動植物データを札幌市の動植物データベースに登録し、活用を図っています。



企業やNPO等との連携による取組

■生物多様性さっぽろ応援宣言

生物多様性の保全に積極的に取り組んでいる企業・団体を「生物多様性さっぽろ応援宣言企業・団体」として登録し、札幌市がその取組を発信しています。

■生き物観察会の開催

市内の自然共生サイト認定事業者と連携し、生き物観察会を開催して自然環境保護の普及啓発を行っています。



■外来種対策

外来生物法に基づき、アライグマの捕獲やオオハンゴンソウなどの防除を実施するとともに、市民団体や大学等との連携により、アズマヒキガエルやウチダザリガニ等への対策にも取り組んでいます。



野生鳥獣（ヒグマ、エゾシカ等）への対応

■ヒグマへの対応

・人の生活圏へのヒグマ侵入抑制策

家庭菜園をはじめとした電気柵の普及促進等による誘引物対策強化のほか、ヒグマが利用し得る緑地の管理やICT等を活用しヒグマを街に近づけないような対策を推進しています。

・市民の安全を第一とした出没対応

関係機関と連携しヒグマ出没時の体制を強化するとともに、市民への的確かつ迅速な情報発信を行っています。

・市民の意識醸成

ヒグマの生態や札幌市のヒグマ対策を市民が知り、行動に移すきっかけとなるような取組を行っています。





■エゾシカへの対応

市街地に出没するエゾシカについては、地域住民の安全確保を図るため、関係機関等と連携し、見守りや追い払い、捕獲等の対応を行っています。



いっしょに取り組もう

- ●身近な自然環境で生き物をさがしてみよう!
- ●外来種とその問題点について調べてみよう!
- ●野生動物にエサをあげないようにしよう!

5 環境施策の横断的・総合的な取組の推進

関連する主なSDGs

環境教育・環境学習

■人材派遣事業

学校現場の環境教育や市民等の自主的な学習を支援するため、市が委嘱した環境保全アドバイザーや環境教育リーダーを派遣しています。

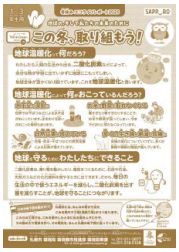




■エコライフレポート

家庭内で身近にできるエコ行動を記載したチェック表を、夏休みと冬休みの前に全市立小中学生に配布し、子どもたちにエコ行動を意識し、実践するよう働きかけていく取組です。

結果を学校ごとに集計し、成果をCO_2削減量に換算して、各学校へフィードバックしています。



■さっぽろこども環境コンテスト

小中学生が、日頃、学校や地域で取り組んでいる環境保全活動について発表・表彰する取組です。令和7年度はエルプラザ公共4施設において、会場でのステージ発表を実施し、参加11団体が発表しました。また、当日の児童・生徒の引率が難しい学校等に配慮し、発表の様子を事前収録し、当日会場で公開するという試みを行いました。



■環境副教材

環境保全について小学生が総合的に学習できる副教材を作成しています。令和7年度は、市立小学校の児童に紙冊子として配布するとともに、令和8年度からのデジタルブック移行に向けた整備・準備を進めました。



持続可能な未来に向けた人材育成

■さっぽろ気候変動タウンミーティング



気候変動をはじめとする社会課題について話し合ったり、専門家からの学びを得たりしながら参加者同士がつながることができるようなワークショップを開催しました。

■環境教育・子どもワークショップ



子どもたちが環境保全を意識し、自発的な行動を起こすためのきっかけづくりとして、市内児童会館等に通う小学生が参加し、オンラインで発表・交流を行うワークショップを開催しました。また、事前研修でスキルを磨いたユース（高校生、大学生等）が各児童会館に赴き、子どもたちの学びをサポートしました。

世界冬の都市市長会



世界冬の都市市長会は、積雪寒冷地にある世界の都市が集まり、共通の都市課題を話し合うことを目的に昭和56年に札幌市が提唱し設立しました。その後、昭和57年から2年に一度、市長会議が開催され、環境保全関係の議題を含め、様々なテーマについて話し合っています。

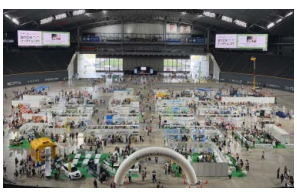
平成26年に韓国・華川郡で開催した第16回会議以降、環境保全に関する行動目標の取組を継続しています。令和6年の第20回会議においても各都市が取組の中間報告を行いました。

また、札幌で開催した第20回会議では、地球環境に関する講演を実施したほか、会議運営においてもサステナビリティ(持続可能性)に配慮した取組を実施しました。

環境広場さっぽろ

事業者や市民団体、行政機関などの各主体による環境保全の取組・活動を発信し、子どもを主な対象に環境教育の場を提供する総合環境イベント「環境広場さっぽろ」を毎年開催しています。

令和7年度は7月26日（土）と27日（日）に大和ハウス　プレミストドーム（札幌ドーム）で開催し、2日間で延べ18,455人の来場者がありました。札幌市環境局では、気候変動対策やごみの減量・リサイクル、自然環境・生物多様性の保全に関する取組が学べるブースを展開し、ゲームやクイズなどのコンテンツや体験型ワークショップを通じて来場した子どもたちは楽しみながら環境について学んでいました。



いっしょに取り組もう

- ●家庭や地域で環境保全について話し合おう!
- ●環境に関するイベントや講演会、施設見学などに参加してみよう!
- ●日本や世界で起きている環境問題の解決に向け、できることを考えてみよう!
- ●札幌の取組を身近な人たちに発信しよう!

各ページに関するお問い合わせ先

1 健康で安全な環境の中で生活できる都市の実現

大気環境のモニタリング	環境局環境都市推進部環境対策課	TEL:011-211-2882
水環境のモニタリング	環境局環境都市推進部環境対策課	TEL:011-211-2882
水環境の保全活動について	環境局環境都市推進部環境対策課	TEL:011-211-2882
気候変動に関する出前講座について	環境局環境都市推進部環境政策課	TEL:011-211-2877
防災に関する出前講座について	危機管理局危機管理部危機管理課	TEL:011-211-3062

2 積雪寒冷地に適した低炭素社会の実現

温室効果ガス排出量について	環境局環境都市推進部環境政策課	TEL:011-211-2877
再生可能エネルギーの導入促進について	環境局環境都市推進部環境エネルギー課	TEL:011-211-2872
次世代自動車の導入促進について	環境局環境都市推進部環境政策課	TEL:011-211-2877
公共交通の利用促進について	まちづくり政策局総合交通計画部都市交通課	TEL:011-211-2492
脱炭素型ライフスタイルの促進について	環境局環境都市推進部環境政策課	TEL:011-211-2877

3 資源を持続可能に活用する循環型社会の実現

家庭ごみの量・割合について	環境局環境事業部循環型社会推進課	TEL:011-211-2912
家庭ごみの減量・リサイクルについて	環境局環境事業部循環型社会推進課	TEL:011-211-2928
	リサイクルプラザ宮の沢	TEL:011-671-4153
	リユースプラザ	TEL:011-375-1133

4 都市と自然が調和した自然共生社会の実現

生物多様性の保全について	環境局環境都市推進部環境共生担当課	TEL:011-211-2879
野生鳥獣への対応について	環境局環境都市推進部環境共生担当課	TEL:011-211-2879

5 環境施策の横断的・総合的な取組の推進

環境教育・環境学習について	環境局環境都市推進部環境政策課	TEL:011-211-2877
環境広場さっぽろについて	環境局環境都市推進部環境政策課	TEL:011-211-2877
持続可能な未来に向けた人材育成	環境局環境都市推進部環境政策課	TEL:011-211-2877
世界冬の都市市長会について	総務局国際部交流担当課	TEL:011-211-2032

詳細は「令和8年度版 札幌市環境白書」をご覧ください。



札幌市役所本庁舎2階市政刊行物コーナー(011-211-2135)で販売(1,540円)しています。

また、ホームページからも閲覧できます。
https://www.city.sapporo.jp/kankyo/kankyo_hakusyo/

■関連ホームページ

環境保全のページ
https://www.city.sapporo.jp/kankyo/

ごみのページ
https://www.city.sapporo.jp/seiso/

公園・みどりのページ
https://www.city.sapporo.jp/ryokuka/

円山動物園
https://www.city.sapporo.jp/zoo/

リサイクルプラザ宮の沢
http://www.sapporo530.or.jp/

世界冬の都市市長会のページ
https://wwcam.org/

環境プラザ
https://www.kankyo.sl-plaza.jp/

■このパンフレットに関するお問い合わせ

編集・発行
札幌市環境局環境都市推進部環境政策課
〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 TEL:011-211-2877 FAX:011-218-5108

みらいを想う
Think Green
環境首都・SAPP_RO

さっぽろ市
00-J00-00-0000
R0-0-0000
SAPP_RO

VEGETABLE OIL INK この冊子は、植物油インクを使用しています。